

HariMaga

は り ま が

中播磨地域ビジョン情報誌 発行：中播磨地域ビジョン委員会



Vol.14



安全安心中播磨部会の活動風景



Contents

- 中播磨地域夢会議・総会 P1
- 特集「まちづくり交流フォーラム」 P2
- 中播磨地域力の紹介 P2
- 各部会グループ活動報告 P3~6
- 中播磨イベント情報 P7

中播磨地域夢会議を開催

平成27年3月7日（土）
兵庫県立ものづくり大学校で、
中播磨地域夢会議を
開催しました。

「未来遺産 銀の馬車道で人の輪と地域の輪を広げよう」をテーマに、中播磨地域ビジョン委員や住民など101人が、銀の馬車道を生かして中播磨地域を元気にするアイデアを出し合い、意見交換しました。

第1部では、最初に、宮永肇（第7期中播磨地域ビジョン委員）さんの、そもそも「銀の馬車道」とはから始まり、銀の馬車道交流館の整備や銀の馬車道ウォークなどのイベント開催、更にユネスコ未来遺産2012への登録など「銀の馬車道プロジェクト」のこれまでの取り組みについて講演がありました。次の、基調講演では、NPO法人姫路コンベンションサポート 玉田恵美理事長から、「銀の馬車道」の名前がつくイベントをやってよ～の一言がきっかけになり、銀の馬車道劇団を結成したこと。様々な試行錯誤を重ねながら、地域住民による人情喜劇「銀の馬車道」の講演活動を通じた地域づくり活動についての講演がありました。

第2部では、参加者が10グループに分かれて、銀の馬車道を生かして中播磨地域を元気にするアイデアを出し合い、グループごとに発表しました。いくつか紹介しますと、生野から飾磨までの銀の馬車道で駅伝又はマラソン大会の開催、統一した表示板やトイレの整備、シスレーのバラを沿道に植える、馬車を復元し馬車道を走らせる、地域資源を織り込んだカルタづくり、馬を一日駅長に、・・・など、たくさんの意見が出されました。

コメンテーター、来賓の皆さんからは、

- 銀の馬車道の理念の見える化、目に見えて実感・体感できる仕組みが必要と感じた。
- 自分のできないことは、自分とは違う人とコラボレーションすることにより実現できると感じた。それが地域おこしの原点と思っている。
- 県・市町・住民の3者が連携協力して取り組むことが大切。

などのご意見をいただきました。



参加者全員でアイデアを出し合いました

平成27年度総会を開催

平成27年5月16日（土）、
中播磨地域ビジョン委員会総会を
姫路職員福利センターで開催しました。

三村委員長が平成26年度の事業実績を報告した後、各部長から4つの部会の実践活動報告があり、参加者と共に1年間の活動を振り返りました。

続いて、夢会議の開催など平成27年度事業計画が参加者から承認され、最後に、三村委員長から「各ビジョン委員が、様々な場面でネットワークを生かし、ひとりひとりが宣伝マンとなって、中播磨地域ビジョンの実現に向けた活動を実践していくことが重要です。今年度もみなさん協力してがんばりましょう。」のこたばで締めくくりました。



26年度の活動を振り返り

中播磨 地域まちづくり交流フォーラム

「地方創生元年」と位置付けられている本年、神河町合併10周年を記念して去る5月24日(日)に神河町中央公民館で「中播磨地域まちづくり交流フォーラム」を開催しました。元気交流中播磨部会・歴史と文化グループが企画したもので、約120名の皆さまが参加され、中播磨地域で歴史や文化遺産を生かしてまちづくりに取り組んでおられる4名の事例発表とパネル討議に耳を傾けられました。

事例発表された方々と内容は以下の通りです。



井内 義延さん
御着史跡保存会
会長

大河ドラマ「軍師・官兵衛」で一躍有名になった御着。小学生の武者行列を通じて、地域の活性化と文化財への再認識・保存を図る。



笹田 奈都子さん
光洋製瓦株式会社
代表取締役

姫路城大天守の保存修理でも使用された「いぶし瓦」の製造技術を活用し、銀の馬車道に因んだ「ものづくり体験型産業観光事業」に取り組む。



開会の挨拶



大野 弘志さん
かみかわ銀の馬車道
まちづくり協議会 副会長

神河町の中村・栗賀町は、歴史的景観形成地区の指定を受け、町並み景観をキーワードとしてまちづくりに取り組む。



前川 光義さん
かみかわ木造インターンシップ
実行委員会 副会長

平成17年から「学ぶ技術で地域に貢献」を合言葉に活動は始まり、地域貢献型インターンシップ事業として地域活性化に取り組む。



市川町の伝統芸能「おかげ踊り」

【記：梶原裕司副委員長】

発掘！中播磨の地域力 文化や歴史、住民の活動から誕生した中播磨地域の魅力を紹介します。

一生職人の心を貫き、数百年の歳月を経てもなお美しい輝きを放つ“一生瓦”を造る

昨年から、何度もお世話になっている
光洋製瓦(株)代表取締役
笹田奈都子さんにお話を伺った。

Q: 姫路城の平成の大修理の仕事をされたのですね。

A. 天守のシャチ瓦、鬼瓦など多数の光洋の瓦を使っていたこと、そして職人たちも「平成の大修理工事」に携わることができたことはとても嬉しい。

神崎瓦の伝統を守り、昔ながらの質の高い「いぶし瓦」にこだわり続けてきてよかったとの思いと、あわせて職人たちとそれを支えてくれる人の地道な仕事ぶりも認められて良かったと思っている。

私たちの仕事はこれで終わりでない。今後も城と関わり続け、数百年先の城の管理に携わった人たちが「さすが光洋さんの瓦や」といわれるよう地道な努力を続けていきたい。



数百年先の中播磨を見据える笹田さん

Q: 姫路城の祝賀飛行すごかったですね。

A. 本当にすごかった。白鷺城下を人が埋め尽くしていた。どの人もどの顔も嬉しそうだった、日本中の笑顔が城下に集まってきたと思った。お城も嬉しそうだった。

多くの人の祝福を受けて、姫路城の瓦、壁もどんなにか喜んでいだろうと思うと涙が止まらなかった。この世界遺産姫路城の美しい姿に見守られながら、この地で日本の伝統技術を後世へ受け継いでいきたいと思った。



姫路城を望む城見台公園
光洋瓦の鬼師・構井さんが製作した鯉瓦

【記：福永強委員】

中播磨地域ビジョン委員会

希望が育つ中播磨部会

わたし達の部会は、子育て支援を主な目的としながらも、子どもや子育て世代だけではなく、支援を必要としている様々な世代の方を見守り手助けすることを目指して活動しています。

平成26年度の主な活動

- 兵庫県立大学環境人間学部「げんきっこ新在家」見学
- はりま里山研究所「里山プレイパーク」見学
- 絵本読み聞かせぐるーぷ「はこべ」見学
- 福崎町「ふくさき日本語サロン」見学
- 豊富町「子育て支援講演会」受講
- 「あそびの広場・ポーネルド」見学

部会委員が普段から活動している団体を中心に、活動の見学や講演会の受講など、様々な支援の場を実際に見ていきました。子どもを対象にした活動や、日本に暮らす外国人を対象にした活動など、対象の違う支援の場を見学することで、新たなつながりと知識を得ることが出来ました。

2月に開催した「ポーネルド見学バス研修会」には、実際に子育て中のご家族にもご参加いただき、中播磨地域における子育て支援の在り方についてご意見を聞く良い機会になりました。



全身を使ったあそびを体験できました

平成27年度の主な活動（予定）

8月25日

「みんなであそぼう♪」と題したイベントを実施。

乳幼児親子を対象に、「しゃぼん玉」「おはなし」「工作」の3コーナーを設けたイベントを実施しました。世代を超えた交流の場にもなり、楽しい夏のイベントとなりました。

また、26年度の活動において情報発信や情報共有の重要性を感じたため、27年度は、より多くの方が相互に情報共有できるシステムづくりを考えています。その第一歩として、イベント会場において情報の収集方法についてのアンケートを実施し、子育て世代の貴重な意見をいただくことが出来ました。

11月15日

市川町文化センターで開催される「地域活動交流メッセ」にストロー工作などで出展する予定です。子どもも大人も、真剣に楽しめる内容の工作となっています。ぜひお越しください！

12月

講師の先生をお招きして、フォーラムを開催します。



8月に開催したイベントのチラシ

安全安心中播磨部会

中播磨地域の安全と安心を活動目的として、高齢者の健康・生きがいづくりや防災・防犯の普及を通じて、みんなが安心して暮らせる地域づくりをめざします。

平成26年度の主な活動

① 高齢者向け体力測定会

高齢者の健康づくりを促進することを目的に、6校区の老人クラブのみなさんに参加いただき体力測定会を開催しました。

10月	妻鹿地区……50名	11月	曾左地区……30名
1月	御国野地区……50名	2月	別所地区……30名
2月	勝原地区……90名	2月	余部地区……50名



② 中播磨地域活動交流メッセに出展参加

- 防災グッズの展示
- 非常食の試食提供
- 救命カード、反射板ストラップ、緊急笛の配布

ご来場いただいたみなさんには、改めて防災について意識してもらおう良い機会になりました。

平成27年度の主な活動（予定）

今年度は、「防災意識」に焦点をあてて活動を行います。部会委員が中心となつての普通救命講習会の開催や、交流メッセでの段ボールトイレの作成講習などを予定しています。

- 6月 「自助・共助」について部会研修会
第1回普通救命講習会…参加者10名
- 7月 防災グッズ（段ボールトイレ）作成の練習
- 8月 第2回普通救命講習会…参加者11名
- 9月 兵庫県広域防災センター（三木市）見学会
- 11月 中播磨地域活動交流メッセ
（11月15日 市川町文化センター）に出展
- 12月 第3回普通救命講習会



普通救命講習会

交流メッセにむけて
段ボールトイレ
作成の練習



参加者募集中!!詳しくは事務局にお問い合わせください。

中播磨地域ビジョン委員会

自然豊かな中播磨部会

平成26年度は、循環・つながりをテーマに人と人、人と自然が共生し、助け合う町づくりを目指し、ゴミの減量化や再利用。そして、自然に調和したエネルギー・食・農業・堆肥等を作り活用を図りたいとの考えで活動してまいりました。活動を通して学んだ事が、それぞれの地域にどう生かし、広められるか考えていきたいものです。

平成26年度の主な活動

1 地域活動交流メッセに木工工作ブースを出展

交流メッセ
来場者と
木工工作



2 国際交流フェスティバルでゴミ分別活動に参加

3 小水力発電について勉強会を開催

4 エネルギー循環を学ぶ研修会を開催

- ① 森永乳業神戸工場を見学。オートメーション化した工場で製品が作られ、省エネ意識が徹底した工場でした。
- ② 神戸市東水環境センターを見学。下水処理の過程で発生する汚泥（おでい）に未利用の食品廃棄物などのバイオマスを加えて、多くのメタンガスを発生させ利用していました。ボイラーの燃料としてセンター内で利用するほか、都市ガスとして家庭等に供給したり、車の燃料としても供給されていました。特に、センターの近くを走る神戸市バス（天然ガス仕様のバス）は、このガスを利用して運行されていました。



下水の再利用について学ぶ

平成27年度の主な活動（予定）

1 のじぎくの定植

姫路総合庁舎玄関前の「のじぎくプランター」の植替えを行いました。

のじぎくを育てるにあたり、市販の花の土と有機肥料を使った土での育ち方を比較する実験を試みます。部内委員を中心に、のじぎくの芽を発芽させ、少し大きくなった苗を玄関前のプランターへ移植させました。

委員の方々も、地域のそれぞれの場所で無肥料と有機肥料でのじぎくを栽培し比較観察する事にしました。有機肥料作成には、委員が各自生ゴミや牛糞・落ち葉・もみ殻等を持ちより堆肥作成に努めました。



有機物でのたい肥の作成



玄関前プランターにのじぎくの定植

2 里山・里海の研修

3 国際交流フェスティバルのゴミ分別活動に参加協力

4 地域活動交流メッセに出展

元気交流中播磨部会

平成26年度の主な活動

平成27年度の主な活動（予定）

歴史と文化グループ

中播磨地域で未来に継承する歴史・文化・伝承などについて、現地に足を運んで学び、資料収集に努め、交流を図ることにより地域の活性化を目指しています。

平成26年度は銀の馬車道（国道312号線）に沿って、7月31日（木）に姫路市船津町、9月18日（木）に神崎郡福崎町、11月14日（金）に神崎郡市川町を訪問し、3地域で熱心に取り組んでいる歴史と伝統文化の伝承について学ぶことができました。

平成27年度は、5月24日（日）に当グループが企画した「中播磨地域まちづくり交流フォーラム」を開催し、不慣れな運営でしたが、まちづくりに取り組んでおられる4名の皆さんの発表を聞く機会を設けることができました。



火山灰「くろぼこ」を見学



福崎町の柳田男像前

今後は、10月に神崎郡神河町、11月に姫路市の飾磨地区（亀山周辺）、12月は御着周辺を訪問する予定です。

また年度末には、2年間の調査内容をまとめた成果物を作成する予定です。

食と産業グループ

昨年度は、魚介類を中心とした食文化と採石業や稚魚養殖などの漁業を中心とした産業で栄えるまち、家島諸島の現地視察を行いました。

姫路港で開催された「中播磨地域活動交流メッセ」では、家島産のタコ飯、チリメン御飯の無料配布を行いました。

今年度は、姫路市太市の食と産業の探索を行いました。太市と言えば、「姿は山城（京都）味は太市」と称される筍（タケノコ）の産地で有名です。太市周辺の山には竹林が多くあり、県内はもちろん県外にも多く出荷されています。お米作りも盛んで農業の盛んな地区ですね。

太市の石倉地区を訪問し、区長さんをはじめ、石倉の皆さまにご協力いただき、筍掘りと料理体験をしました。

筍御飯、筍の天ぷら、焼き筍、筍の佃煮、その他色々な食文化を教わりました。石倉の皆様、本当にありがとうございました。



太市で美味しい筍をGETです！



11月15日（日）に市川町文化センターで開催される中播磨地域活動交流メッセでは、太市の筍御飯を無料で配布する予定です。太市のゆるキャラ「たけやん」も参加予定です。ぜひご来場ください！

また、今年度はビジョン委員を対象にした「銀の馬車道を食と産業で巡るツアー」も検討中です。中播磨の魅力を幅広く見ていただくべく、食と産業だけでなく歴史も学ぶツアーを考えています。

「ハモ」と言えば、○○…

ハモと言われて、淡路・沼島と思いつかべたあなた、実は近年、播磨灘、特に、家島の坊勢島で漁獲高が大幅に増加しています。知っていましたか。

家島の漁獲高は、平成20年の約150トンから平成25年には3倍以上の約470トンに増え、淡路の630トンに迫っています。この勢いで行くと、平成27年は、追い抜くかも？

遠くない将来、「ハモ」と言えば、姫路家島の坊勢島と言われる日が到来しているかもしれません。



情報
募集中

Facebook \ ハモ料理が楽しめるお店を紹介してください。/
「Hari Maga 中播磨地域ビジョン委員会」で、紹介します。
(<http://www.facebook.com/nkharimavision>)



中播磨イベント情報



イベント名	開催場所	開催日	問い合わせ先	
第33回祝賀・姫路城観月会	姫路城三の丸広場	9月27日(日)	姫路城イベント実行委員会	079-287-3652
七種山登山	七種山	10月17日(土)	福崎町観光協会	0790-22-0560
ススキまつり	砥峰高原	10月25日(日)	とのみね自然交流館	0790-31-8100
第42回福崎秋まつり	エルデホール・文化センターほか	10月31日(土)・11月1日(日)	福崎町	0790-22-0560
越知川名水街道「秋物語」	越知川名水街道沿い	11月8日(日)	神河町観光協会	0790-34-1001
いちかわ商工祭	市川町文化センター	11月15日(日)	市川町商工祭	0790-26-0099
中播磨地域活動交流メッセ			中播磨県民センター県民交流室県民課	079-281-9197
書写山もみじまつり	書写山	11月21日(土)~11月23日(月・祝)	書写山圓教寺	079-266-3327
みんなで繋がる収穫祭	新野水車の郷 カーミンの観光案内所ほか	11月22日(日)	神河町観光協会	0790-34-1001
第26回福崎町自然歩道を歩こう大会	神戸医療福祉大学キャンパス	11月23日(月・祝)	福崎町・福崎町自然保護審議会	0790-22-0560
姫路書写山ロープウェイ 大晦日オールナイト運行	書写山	12月31日(木)~平成28年1月1日(金)	姫路市書写山ロープウェイ	079-266-2006
兵庫県市川マラソン全国大会	市川町文化センター	平成28年2月中旬	市川町教育委員会	0790-26-0001

編集後記

中播磨地域ビジョン委員活動にご協力いただいている皆さま、いつもありがとうございます。今回のHariMagaもビジョン委員の活動報告を中心に情報満載でお届けいたします！それぞれの部会が中播磨地域のためにさまざまな活動を行っています。活動に興味のある方は、いつでも下記の問い合わせ先にご連絡くださいね♪

情報誌に対するご意見
ご感想などのご連絡先

中播磨地域ビジョン委員会事務局
〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県中播磨県民センター県民交流室総務防災課
電話(079)281-9053 FAX(079)285-1102
メール: nkharimakem_04@pref.hyogo.lg.jp